

認知症かな？と思ったら…

脳活外来



認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる認知症は、人生百年時代とも言われる今、誰にとっても他人事でないものとなっていきます。脳の機能が落ちることによって意欲がなくなると、筋力が衰えて食事や運動もできなくなってしまうのです。

西能みなみ病院では認知症への不安を感じている方を対象に、早期の診断と進行の抑制を目的とした「脳活外来」を開設しています。

Step 1 診察



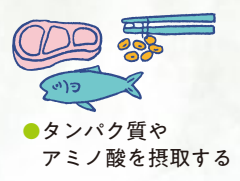
脳活外来では患者さんの症状に合わせて検査を行い、認知症を診断します。診察の当日は患者さんが緊張している可能性もあるので、じっくり時間をとってお話を伺います。同席されたご家族にも普段の生活や症状について伺います。

診察 内科的診察や神経学的所見のチェック	神経心理検査 口頭での質問や、文字・図形等を書く検査（MMSE など）
血液検査など ビタミン不足や甲状腺機能のチェックのための血液検査、必要に応じて心電図など	MRI 検査 脳の断面や血管の状態を画像化し、脳の萎縮がないかなど脳の状態を確認

Step 2 治療

認知症は適正な薬の服用や生活習慣の改善によって進行を抑えられる可能性があります。運動・薬物・栄養の面から様々な治療法を併用して状態を改善していきます。

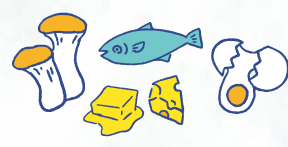
栄養療法



- タンパク質やアミノ酸を摂取する



- 毒素を排泄させる食材を取り入れる（きのこ類やニンニク、しょうがなど）



- 血中のビタミンDをふやす（ビタミンDを摂取できる食べ物… 鮭、まぐろ、鯖などの魚類、きのこ類、バター、チーズ、卵など）

- サプリメントでも栄養補給！

運動療法

脳を活性化！



- ウォーキング
- ロコモ運動

薬物療法

適正な種類と量の薬で症状を改善！

- 抗認知症薬
- 漢方薬



2名の認知症予防専門医が診察します！

腸と脳は繋がっている!?

脳は腸の神経が発達してできあがったという、生物の進化の歴史があり、脳と腸は互いに影響を及ぼしています（脳腸相関）。ストレスから腹痛を起こすのは脳が自律神経を介して、腸にストレスの刺激を伝えるからです。そのため、普段の食生活を見直し腸を整えることが、脳にも良い影響を与えます。

認知症の予防や、進行を抑えるためには生活習慣の見直しが必要です。なかでも普段の生活に取り入れやすい「栄養療法」はすぐにでも実践してほしい！今後は一人暮らしの方への栄養面でのサポートも行なってまいります。



松田 昌夫 医師



金沢医科大学 高齢医学科 奥野 太寿生 医師

診察をしてみると認知症ではないと分かることもあります。認知症であっても、発見が早いほど進行を抑えることができます。気になる症状がありましたら、身構えずに、まずは一度お越しくださいね。

西能みなみ病院 脳活外来

診療受付時間 予約・お問い合わせ
 月・木曜 13:30～15:30 ☎ 076-428-2373
 ★完全予約制 (西能みなみ病院)

くわしくはこちらから

